

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間や環境上の配慮ができていて、子どもの活動に合わせた空間となっている。	子どもの導線や環境設定(ピアノの位置やロッカーの位置、掲示物の場所)をその時の子どもに合わせて考えている。	子どもの様子に応じて改善する時には、すみやかに対応できるようにしていく。
2	支援プログラムにそって、ニーズや課題を分析された上で、個別支援計画が作成されている。	しっかりと子どもの様子や課題をしっかりと理解出来るよう日々ふり返しを行い、共通認識ができるようにしている。	専門性の向上のため、職員・パート全員を対象として研修を行い、質の向上を計る。
3	子どもたちが楽しく登園している。	先生達から、まずしっかり関係を築くことで、子どもたちも信頼をもっている。友達との関わりにも大人が仲介し、関係を作っていくことで、大好きなおともだちが出来、安心して充実した生活を送っている。	「たのしそう」「やりたい」「もう一回」と子ども自身が思えて、行動できる活動を引きつづき考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	保護者の希望がある時や、必要時での実施となっている。子どもにとって、意味のあるものか考える中で、メリットだけではないと考える。	必要時に応じて、ニーズにともない周知していく。
2	保護者交流会や学習会の実施	今年度計画を立てる予定ではあったが、立てられなかった。交流会も企画できなかった。	新年度が始まる前に計画を立てておくようにする。
3	きょうだいへの支援	きょうだいへの支援や関わりは、利用児を通して出てくる話の中での対応となっている。	保護者へのきょうだい児へのフォローや対応等、学べる機会を作りたい。